

## 稲盛財団「第30回京都賞授賞式」 抗議宣伝行動 おこなわれる

11月10日午後、京都市左京区の国立京都国際会館で稲盛財団「第30回京都賞授賞式」がおこなわれ、授賞式開催時間に合わせてJAL原告団と「日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議」は稲盛和夫・JAL名誉会長への申し入れと抗議宣伝行動をおこないました。



この京都賞授賞式は稲盛財団が毎秋実施し、内外の学者・文化人3人に各5千万円もの賞金を授与する催しで、稲盛和夫JAL名誉会長にとっても、年間最大イベントです。

国際会館前にはJAL原告団、JAL闘争を支える京都の会、京都支援共闘会議の労働組合員など約30人が結集し、地下鉄出入口から出てくる授賞式参加者らにビラ配布とアピールをおこないました。JAL闘争を支える京都の会の駒井事務局長は「原告団を職場にもどすとともに、この闘いは整理解雇四要件を守る闘いでもあり、すべての労働者のためにもこの闘いに勝利しよう。」と訴えました。



原告団を先頭に代表団を編成し、稲盛名誉会長宛の要請書を手渡しに向いましたが、京セラの社員が出てきて道を塞がれました。しかし、要請書の全文を読み上げ、京セラの社員に手渡しました。また、JAL大西会長が地下鉄出入口から出てきたので、JAL原告団が直接訴えようとしたのですが、大西会長が国際会館前のホテルの中に逃げようとしたため、原告団が追いかけて大西会長本人に訴えました。最後にJAL客乗原告団の鈴木圭子さんの発声で、会場に向かって、「稲盛会長は解雇を撤回せよ」と、シュプレヒコールを参加者全員でおこないました。

